

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		地域特性を活かした観光振興事業	H24 ～ H33					
1	①	瀬長島観光拠点整備事業	H24 ～ H28	瀬長島全体の利便性の向上を図り、平成24年度に策定した「瀬長島観光拠点整備基本計画」を踏まえ、観光拠点として必要な施設並びに設備等の整備を行う。	瀬長島内の施設並びに設備等の整備を実施。(委託、防犯灯施設490m、駐車場等施設、レトロ角柱、サイン看板)	全体整備計画の事業100%完了(委託、防犯灯施設490m、駐車場等施設、レトロ角柱、サイン看板の完了)による瀬長島全体の利便性向上	(今後の展開方針) 平成28年度事業完了以降の瀬長島における将来の来島者数 目標値:160～192万人/年	
	②	文化観光創出事業	H24 ～ H33	H25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・豊見城城址跡地用地(約16,600㎡)の用地取得と立木等の補償 ・園路及び地下埋設物、雨水排水施設等の整備 ・斜面緑地ゾーン法面調査実施設計	平成30年度中の一部供用開始に向けた事業の着実な実施を目指す。 ・用地全体の約70%確保(全体面積約13.5ha) ・園路及び地下埋設物(整備延長L≒540m)、雨水排水施設(整備延長L≒180m)等の整備 ・斜面緑地ゾーン法面調査実施設計 一式	【今後の展開】 ・用地取得と立木等の補償(～H30年) ・園路等の施設整備 ・駐車場の整備 ・グスクの復元(～H33年)	
	③	とみぐすく祭り事業	H26 ～ H33	歴史文化に育まれた子どもエイサーや豊見城ハーリーなど貴重な地域資源を活用した祭りを開催し、本市の成長力、若い力を県内外に広くアピールし、新たな観光の場として誇りと愛着の持てる「ひと・そら・みどりがつなぐ響むまちとみぐすく」の実現を目的とする。	とみぐすく祭りの開催	とみぐすく祭りの開催 とみぐすく祭りの来場者数:91,500人 県外観光客数:14% 基準年:H26・90,765人	来場者数及び県外観光客の増	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	④	観光振興等支援事業	H25 ～ H29	市観光協会などが実施する観光資源の開発やイベント事業を支援することにより、観光振興や地域振興に取り組む担い手となるまちづくり団体を育成し、観光振興に取り組める環境づくりを図る。また、オフシーズンの誘客対策として新たな特色ある観光事業の誘致や開催を検討するとともに、観光PR活動を行う。	・豊見城市観光協会等の補助対象団体からの補助対象事業を公募し、選定委員会にて将来、豊見城市の観光振興に資する事業で自立が見込まれる内容を適切かつ公平に2～3団体選定、補助金交付。 ・観光PRツール制作	・観光地点等入込客数 約230万人(H23年度)→約299万人(H28年度)	・同事業の周知を広く行い、更なる観光客の誘客促進、地域活性化を図る。 H29入域観光客数:307.5万人	
	⑤	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ H33	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植樹樹の除草清掃(1390樹、3回除草清掃) ②プランターの植栽管理(464個)	植樹樹の除草清掃、プランターの植栽管理を行い、魅力ある観光地づくりに寄与する。	(今後の展開方針) 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	
	⑥	豊見城市景観重点地区調査検討事業	H28 ～ H29	市景観計画に基づき、本市の自然や歴史・文化資源などの地域資源をまもり、育て、豊見城らしい景観まちづくりを推進し、地域資源を活用した新たな観光資源の創出や地域の活性化を図るため、景観重点地区(モデル地区)の指定に向けた、調査・検討を行う。	地域資源、住民意向を把握し、重点地区指定に向けて、住民の合意形成を図り地区方針等を検討する。	景観重点地区指定基礎調査報告書の作成	(今後の展開方針) H29年度:景観重点地区計画策定及び重点地区の指定	
	⑦	新たな公共交通システム導入可能性調査検討事業	H28 ～ H32	公共交通機関の利用低下や沖縄県が行う鉄道を含めた新たな公共交通システムに対応し、観光客・住民の生活利便性の向上及び産業の振興を図るため、本市における公共交通の現状把握及び課題の整理、新たな公共交通システムの導入の意義、将来像やモデルルートの設定と需要予測、実現に向けた施策の展開等の調査及び検討を行う。	新たな公共交通システム導入可能性の調査及び検討	新たな公共交通システム導入可能性調査検討報告書の作成	(今後の展開方針) H29年度:詳細検討、実証実験の検討 H30年度:実証実験 H31年度:本格運用 H32年度:本格運用	
	⑧	豊崎総合公園シャトルバス実証実験事業	H28	豊見城市民体育館におけるイベント時の駐車場対策に対応するため、豊崎総合公園内のビーチ側から市民体育館までを往復するシャトルバスの試行・運行を実施する。	バス運行の計画検討 ・大型バス2台/日	実証実験の結果を出し、シャトルバス運行に向けての運営計画の策定	【今後の展開】 バス運行の実験を基に定期的な運行を検討していく	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
		⑨ 豊崎海浜公園景観保全事業	H28	公園利用者の休養・散策・運動等に供する施設の提供として、公園内にある枯損木の植え替えを行う。	景観保全工事を行う。	沖縄らしい景観を保つことにより、観光客増加を図りたい。	指定管理者における適切な管理を行い、公園の景観性向上を図る	
		⑩ 観光力向上事業	H28 ～ H30	豊見城市の各種計画を踏まえ、将来への展望、背景等を考慮した提案を幅広く受け、豊見城市の観光に資するための人材育成を行い、今後の観光客の受け入れ態勢の充実を図る。	観光に資する人材を育成するための事業実施	人材育成された者等にアンケートを実施し【満足・やや満足・普通・やや不満足・不満足】の5つに分類し、不満足度が40%以下を目標値とする。 ※不満足度＝やや不満足、不満足合計割合。	各年度の終了ごとに、観光関連の市内事業所(任意団体含む)等への定着を促す。	
		⑪ 豊崎美らSUNビーチ浚渫基礎調査事業	H28	公園利用者の利便性向上のため、豊崎美らSUNビーチの南北2つの浜の測量・潮流等の調査業務を行う。	豊崎美らSUNビーチ基礎調査業務の実施	豊崎美らSUNビーチ基礎調査業務を実施し、対策工法の検討を行う。(基礎調査完了)	(今後の展開方針) ビーチ利便性向上に向けた浚渫に関する調査の実施	
		⑫ 豊崎海浜公園東屋改修事業	H28	公園利用者が快適に施設を利用できるよう、東屋の柱のタイル工事を行う。	東屋の柱のタイル張り工事の実施	東屋の柱のタイル張り工事の完了	指定管理者における適切な管理を実施する。	
2		持続可能な安全・安心なまちづくり事業	H24 ～ H28					

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
①	低炭素社会構築事業(省エネ設備導入促進事業)	H26～H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、防犯灯(水銀灯、蛍光灯)等を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	自治会等所有の防犯灯約700灯及び豊見城市所有の防犯灯等約80灯をLED化	自治会等が設置した防犯灯等が排出するCO ₂ 約126,892kg減量 基準年度:平成26年度(422,976kg) 自治会等及び豊見城市が所有している防犯灯等の温室効果ガス(CO ₂)排出量の合計値	(今後の展開方針) 平成28年度で事業終了ではあるが、自治会等が防犯灯等を設置する際は環境負荷の少ないLED照明の設置を推進する。		
②	低炭素社会構築事業(給食センター省エネ設備導入促進事業)	H28	積極的な省エネルギー設備の導入により環境負荷の少ない低炭素社会の構築を図るため、照明施設(蛍光灯)を環境負荷の少ないLED照明に切り替え、温室効果ガス(CO2)の排出を抑制する。	・学校給食センターLED照明設置234灯	学校給食センター照明施設 CO ₂ 年間削減量 7,400kg 基準年度:平成26年度(17,532kg)	エネルギー使用の効率化を図り、消費電力の削減とCO ₂ 排出量の削減を図る。		
3	地域特性を活かした産業活性化事業	H24～H33						
①	とみぐすく産業まつり事業	H25～H33	豊見城市産品を一堂に会したイベントを実施することにより、市民および観光客等に対し、市内の各種産業のPRを行い産業の振興を図る。 また、異業種間での情報交換や交流の場とすることで、産業界間の連携を生み出し新たな産業の創出を図る。	とみぐすく産業フェスタの開催に係る経費の負担	とみぐすく産業フェスタの来場者数 36,000人 (H25:30,190人)	負担金の支出金額を減らしつつ、来場者数の増加を図る。		
②	県外販路拡大支援事業	H26～H31	市内事業所が開発した商品・サービスの販路拡大を図るため県外において開催される展示会・見本市等への出展に対する支援を行う。	県外で開催される、展示会・見本市等へ出展する事業所に経費の助成を行う。	県外展示会・見本市等において、市特産品等のPRを行い、販路拡大につながるネットワークを構築	市内事業所の出展等ニーズに沿った展開を行う。		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	③	豊見城産トマト・葉野菜販売促進事業	H27 ～ H29	豊見城産トマト・葉野菜は施設整備が進み生産量も増加傾向にあるため、今後県内への出荷が集中することによる価格の下落が懸念されている。 豊見城産トマトは、県の拠点産地に認定されており又、葉野菜は県内有数の産地となっていることもあり、豊見城産ブランドをPRし、県内外において新たな販路拡大のための販売促進活動を実施する。	豊見城産トマト・葉野菜販売促進活動 6回	豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H28:543t(2年目)【H25:369t(基準)】	(今後の展開方針) 豊見城産トマト・葉野菜県外出荷量 H25:369t(基準) H27:528t(1年目) H28:543t(2年目) H29:563t(3年目)	
	④	優良母牛導入支援事業	H27 ～ H29	優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生産基盤の確立及び経営の安定、農業振興を行う。	優良母牛導入に対する補助	優良母牛の導入頭数 H28年度:15頭	優良母牛導入頭数 H27:15頭(1年目導入率33%) H28:15頭(2年目導入率66%) H29:15頭(3年目導入率100%)	
	⑤	豊見城市いきいき野菜生産支援事業	H24 ～ H28	豊見城産葉野菜について、市場や量販店の求める定時、定品質等の安定供給を推進するためにも、天候悪化に左右されない耐候性野菜栽培施設を導入する。	耐候性野菜栽培施設導入に対する補助	H28年度:耐候性野菜栽培施設導入	(今後の展開方針) 耐候性野菜栽培施設を導入し、軟弱野菜の計画的な生産、安定供給が可能となり、販路拡大や生産農家の経営安定を図る。	
4		次世代育成支援事業	H24 ～ H33					
	①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業	H26 ～ H33	公立幼稚園及び公立・法人・認可外保育施設における「特別な支援を必要とする子」への保育の充実と、きめ細かい対応及び早期発見を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。	臨床心理士配置数:2人	「特別な支援を必要とする子」への対応や保護者への相談・支援件数120件	(今後の展開方針) 障害児保育等の実施、健診及び相談支援部門と保育部門の連帯性の確立	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	②	心理相談事業	H26 ～ H33	乳幼児健診において臨床心理士を配置し、乳幼児健診の充実を図るとともに、発達支援を要する乳幼児の早期発見に努める。また、乳幼児健診後の事後フォローとして親子教室、個別相談を行い、適切な関わり方の助言や、育てにくさを抱える保護者の育児不安軽減を図る。発達支援を必要とする乳幼児については、保育所、療育機関、医療機関等と連携し早期支援につなぐ。	乳幼児健診における心理相談 30回 親子教室における心理相談 12回	健診事業等での発達相談 80件 個別相談 80件 親子教室から早期支援のための関係機関への移行 7組	(今後の展開方針) 健診及び相談支援部門と保育部門の連帯性の確立、保育士に対する普及啓発や研修の実施	
	③	預かり保育事業	H24 ～ H33	市立幼稚園教育時間終了後、幼稚園施設内で預かり保育を実施し、園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。	預かり保育担当教諭配置:40名予定	預かり保育を要する全園児の受入	(今後の展開方針) 預かり保育担当教諭を継続配置し、共働き世帯等の保護者の負担の解消及び園児の健やかな発達と子育て環境の充実を図る。	
5		生きる力を育む人材育成事業	H24 ～ H33					
	①	学力向上サポート事業	H24 ～ H33	市内各小中学校への教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員配置数(各学校1人) 小学校:8人 中学校:3人	全国学力調査での全国平均との差 ①小学校 5教科平均 +2.0ポイント以上(維持) ※H27年の差+3.18ポイント 【全国平均(63.28点) 本市(66.46点)】 ②中学校 5教科平均 -5ポイント(0.78ポイント改善) ※H27年の差-5.78ポイント 【全国平均(60.12点) 本市(54.34点)】	平成33年度まで事業を維持し、全国平均との差を小学校+2ポイント、中学校0ポイントとする。	
	②	情報教育補助員派遣事業	H24 ～ H33	コンピューター、電子黒板を使用する授業へICT教育補助員を派遣し、ICTを活用した授業をサポートする。	情報教育補助員配置数:3人	ICT機器等活用率:前年比+0.5ポイント (参考:平成26年度 小学生71.8ポイント 中学生24.6%)	平成33年度まで継続的に情報教育補助員の配置を行い、ICT機器等活用率90ポイントとする。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	③	適応指導教室学習支援員配置事業	H24 ～ H33	不登校児童生徒やその保護者に対し指導員を配置し、教育相談や適応指導等の適切な支援を行うことにより学校復帰及び社会的自立を支援する。	適応指導教室学習支援員配置数 適応指導教室:2人	学校復帰率:10%(学校復帰した児童生徒/教室に在籍した児童生徒)	平成33年度まで継続的に適応指導教室学習支援員の配置を行い、学校復帰率30%を維持する。	
	④	自立支援教育指導員配置事業	H25 ～ H33	不登校や問題行動のある児童生徒の日中の居場所を確保し、学級復帰及び社会的自立を支援するため、指導員を配置する。	自立支援教室指導員配置数 中学校:3人(各中学校1人)	市内中学校における問題行動発生率 前年比-5%	平成33年度まで継続的に自立支援教室指導員を配置し、対象生徒数を各学校生徒数の1.5%以内に	
	⑤	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ H33	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境改善を図り、児童相談所等の関係機関とのネットワークの構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	SSW配置数:3人 市内小学校8校、中学校3校への巡回配置	支援対象ケース改善率 3% (改善ケース/支援対象ケース件数)	平成33年度まで継続的にSSWを配置し、関係機関との連携構築を行い、維持する。	
	⑥	登校支援員配置事業	H25 ～ H33	不登校や不登校傾向にある児童やその保護者に対し、相談等の支援を充実するため、登校支援員を配置し巡回など行う。	登校支援員配置数 小学校:4人(小学校2校につき1人)	市内小学校における不登校児の学校復帰率10%	登校支援員の継続配置を行い、学校復帰率(復帰人数/利用児童数)の改善(平成33年:30%)を図る。	
	⑦	学習支援補助員配置事業	H26 ～ H33	市内各中学校等の別室にて不登校(心因性や遊び・非行型)や問題行動のある生徒の生活指導や学習支援等を行うため、学習支援補助員を配置する。(主に中学校、状況に応じて小学校に配置する。)	学習支援補助員配置人数 中学校等:3人(中学校区に1人)	問題行動等改善率:30% (補助員が関わった課題のある児童生徒のうち改善が見られた児童生徒数/補助員が関わった課題のある児童生徒数)	平成33年度まで継続的に学習支援補助員を配置し、問題行動等改善率を30%を維持する。	
	⑧	パソコン教室整備事業	H25 ～ H33	パソコンを活用した学習カリキュラムを実施し、生徒の学習への興味、関心を高めながら学力の定着及び向上を図る他、情報端末操作技術の向上等、情報活用能力の向上のため、市内各小中学校におけるパソコン教室に備品(パソコン)を整備する。	5学校のパソコン教室のパソコン整備(サーバー機1台、先生機1台、生徒機42台)	ICT機器等活用率:前年比+0.5ポイント (参考:平成26年度 小学生71.8ポイント 中学生24.6%)	(スケジュール) 平成28年度:伊良波小学校、座安小学校、上田小学校、豊見城小学校、長嶺小学校 平成33年度までのICT活用率90ポイントとする。	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
⑨	中学校デジタル教科書整備事業	H28	画像、音声及び動画など、マルチメディア資料を豊富に含むデジタル教科書を各中学校へ整備し、パソコン教室や電子黒板で活用するなど、学習環境の向上を図ることにより、生徒の学習に対する興味・関心を高める。	市内3中学校へのデジタル教科書の配備	・デジタル教科書の配備：中学校3校完了	(今後の展開方針) 全国平均との差を小学校+2ポイント、中学校0ポイントとする。		
⑩	外国人英語講師配置事業	H25 ～ H33	児童生徒の英語学習や国際理解教育の向上を図るため、外国人講師を配置する。	外国語英語教師(ALT)の配置数 外国人：4名	児童生徒の英語学習への興味・関心度 66%	外国人英語講師を継続配置し、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、県学力到達度テスト県平均±0を目指す。		
⑪	小学校英語活動講師派遣事業	H25 ～ H33	国際化時代に対応できる人材の育成を目的に、小学校の外国語活動や総合的な学習時間に日本人英語教師を派遣する。	英語指導講師派遣校数 小学校：8校	児童の英語学習への興味・関心度 75%	英語活動講師の継続派遣を行い、小学生の英語に対する興味関心を引き出すとともに、中学校進学後における県学力到達度テスト県平均±0を目指す。		
⑫	児童生徒派遣費補助事業	H25 ～ H33	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を助成	助成対象者に対する助成件数(%)：100%	(今後の展開方針) 33年度まで児童生徒の派遣費の助成を行う		
⑬	青少年国際交流事業	H25 ～ H33	市内在住の中学生をハワイ州へ派遣し、英語環境で生活することを通して、英語に対する興味関心を更に高め、主体的、意欲的に学習する機会を提供して、次代を担う国際的な人材を育成する。	市内中学生14名をハワイ州に派遣 報告会の開催(1回)	語学力向上等の興味関心度90%以上 (参考：H27「語学力の向上が図られた」86%)	県内で開催される国際大会(世界のウチナンチュ大会等)にボランティアとして派遣し、語学力を向上させる。		

H27活動目標(指標)：平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標)：平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
	⑭	電子黒板整備事業	H25 ～ H28	ICT活用を図り、効果的な授業を展開することで、児童生徒の理解を深めるため、特別支援教室及び普通教室の増クラス分へ電子黒板を整備する。	電子黒板の整備14台	電子黒板の整備完了 今年度は、電子黒板の整備を行い、ICT機器等活用率：前年比 +0.5ポイントにつなげる（操作・理解、関心・意欲） 電子黒板活用教科数：2教科以上（国語、算数・数学）	整備した電子黒板を活用した授業等の実施	
	⑮	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ H33	市立幼稚園・小中学校において、特別に支援を要する幼児児童生徒の教育活動の充実を図るため、特別支援教育支援員を配置し支援を行う。	特別支援教育支援員の配置：77人	支援を要する園児児童生徒への配置（%）：100%	（今後の展開方針） 33年度まで継続的に配置を行い、十分な教育受けることができるように配慮する。	
	⑯	幼稚園保育室等クーラー設置事業	H28	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続く地域である。園児の健康維持や熱中症対策を行う必要があることから、クーラー設置を行う。	整備園数：5幼稚園（13室） 「長嶺幼稚園・座安幼稚園・豊見城幼稚園・伊良波幼稚園・とよみ幼稚園」	整備園数：5幼稚園（13室） 「長嶺幼稚園・座安幼稚園・豊見城幼稚園・伊良波幼稚園・とよみ幼稚園」	（今後の展開方針） H28年度：整備後供用開始	
	⑰	小中学校クーラー設置事業	H24 ～ H28	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続く地域である。小中学生の健康維持や熱中症対策を行う必要があることから、クーラー設置を行う。	学校数：2小学校（5室） 2中学校（4室） 「豊見城小学校・伊良波小学校」 「長嶺中学校・伊良波中学校」	学校数：2小学校・2中学校（9室） 「豊見城小学校・伊良波小学校」 「長嶺中学校・伊良波中学校」	（今後の展開方針） H28年度：整備後供用開始	
6		文化のまちづくり推進事業	H24 ～ H28					
	①	文化財説明板設置事業	H24 ～ H28	本市に存する文化財に説明板を設置し、文化財に係る地域住民の理解を深め、保全を促すとともに、新たな文化、観光資源として活用を目指す。	市内文化財説明板設置件数 5基 ホームページを活用した文化財説明板設置個所の紹介	見学者が文化財へ訪れやすい環境の整備（文化財説明板累計設置件数 25基） （HP内において設置個所の紹介 25件）	（今後の展開方針） 「史跡めぐり」等行事・イベントの開催やホームページ閲覧数の向上等で周知・紹介の機会を増加させる。 地域住民には文化財への理解と保全を促し、観光客には新たな観光資源の提供として活用していく。	

H27活動目標(指標)：平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H27成果目標(指標)：平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
	②	小中学校「空手」習得事業	H27 ～ H33	沖縄空手道会館が本市に建設されることに伴い、沖縄の伝統文化である空手を習得し、演武できる児童生徒を排出するため、市立小学校において、クラブ活動の時間に「空手」指導、中学校において、体育の授業を活用し、「空手」の指導を行う。	空手指導者の派遣 小学校8校、中学校3校	習得率(演武できる割合) 60%(習得人数/受講児童生徒数)	平成33年まで継続的に講師による授業を展開し、習得率100%を目標とし、沖縄文化を習得した人材(児童生徒)の輩出を行う。	
	③	フィルム資料収集事業	H28 ～ H31	近代の歴史資料であるフィルム資料の収集を通じて、郷土資料の充実に資するため、豊見城に関するフィルム資料を収集し、撮影位置を調査・記録さらに原本の保存および複写を行う。 「豊見城市民が歩んだ沖縄戦からの復興と生活」をテーマに、沖縄戦をはじめとする様々な歴史的な出来事に対して、豊見城市民が共に歩んできた様子、さらにそれらに立ち向かい復興を果たしてきた状況を伝える郷土の歴史資料を収集する。 収集した写真を基にトークイベントを開催し、市民への公開と更なる収集の呼びかけを行う。合わせて各機関が所蔵する豊見城市に関わるフィルム資料の収集を行う。	トークイベントの開催 4回 他機関写真フィルム資料事前調査	収集写真枚数 250枚 他機関所蔵写真フィルム目録作成	(今後の展開方針) 地域資料収集(H28～H31) 他機関事前調査(H28・H30) 他機関資料収集(H29・H31)	
7		公営墓地整備事業	H27 ～ H31					
	①	公営墓地整備事業	H27 ～ H31	平成27年度建設用地立地可能性調査を基に候補地・土地形態に応じた公営墓地形態の絞込みを行う。	公営墓地整備基本計画の検討	H28年度:公営墓地整備基本計画のとりまとめ完了	(今後の展開方針当) H29年度:基本設計 H30年度:実施設計 H31年度:工事施工	

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				8	豊見城総合公園体躯施設機能強化事業			
①	豊見城総合公園体育施設機能強化事業	H28 ～ H31	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件、計画的な整備を推進するための検討を進め、市民のスポーツ振興及び競技力向上と観光客等の増加により地域活性化を図る	基本計画の検討	基本計画の取りまとめ完了	(今後の展開方針) 合宿誘致:5回(H32) 利用者数等:30,000人(H32)		
②	豊崎海浜公園テニスコート機能強化事業	H28	本市ではオリンピック・パラリンピック強化合宿を推進するため協議会を発足させ、誘致を強力に推進することとしている。 新設される、豊崎総合公園テニスコートにおいて、スポーツコンベンションを誘致するにあたり、観光振興の観点から大会・スポーツイベント等の開催を推進し、また、市民のスポーツへの参加意欲向上や健康増進と体力づくりを推進するためテニスコートの備品整備を行う。	テニスコートの備品購入	テニスコートの備品購入完了	H29年以降、大会・イベント・強化合宿等の誘致。		

H27活動目標(指標):平成27年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H27成果目標(指標):平成27年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。